



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,222	2.3	201	16.4	278	31.1	180	31.4
2022年3月期第2四半期	9,991	29.8	172	—	212	—	137	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 346百万円（86.2%） 2022年3月期第2四半期 186百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	11.89	—
2022年3月期第2四半期	9.06	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	37,126	30,004	80.8	1,971.16
2022年3月期	37,616	29,901	79.5	1,964.39

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 30,004百万円 2022年3月期 29,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	3.3	1,100	△3.8	1,150	△7.1	850	△5.0	55.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	15,721,000株	2022年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	499,420株	2022年3月期	499,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	15,221,580株	2022年3月期2Q	15,196,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)におけるわが国経済は、ウイズコロナへの動きが進む一方で、ロシアによるウクライナ侵攻によるエネルギー価格の上昇や、内外の金利差拡大による円安の進行を大きく受けたものとなりました。今後についても、国内でのウイズコロナの定着化が進む一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、更なる円安の進行など、先行き不透明な状況が続くと思われまます。

このような状況において当社では、半導体関係の需要増に 대응べく、生産体制の整備・事業構造のシフトに努めるとともに、部材不足への対応や原材料価格・仕入れ価格の上昇の当社製品価格への転嫁などの対応を進めてまいりました。

この結果、主に検査計測機器事業および産業機器事業の販売の増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,222百万円で、前年同四半期比230百万円、2.3%の増収となりました。

利益面につきましては、販売増加にともなう粗利益増加に加えて合理化推進を継続的に実施した結果、営業利益201百万円(前年同四半期比28百万円、16.4%の増益)、経常利益278百万円(前年同四半期比66百万円、31.1%の増益)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は180百万円(前年同四半期比43百万円、31.4%の増益)となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント利益または損失(△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	4,904	4,689	△4.4%	6	△176	－%
検査計測機器	2,778	3,026	8.9%	△130	157	－%
産業機器	1,254	1,355	8.0%	263	197	△25.2%
エクステリア	445	455	2.2%	△2	△8	－%
機械・工具	609	695	14.1%	41	30	△25.0%
報告セグメント計	9,991	10,222	2.3%	177	201	13.3%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△4	△0	－%
合計	9,991	10,222	2.3%	172	201	16.4%

(住生活関連機器)

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスの価値を創造するオフィス家具の開発・生産、特にWEB会議の機会拡大で需要が拡大している個室空間製品に注力してまいりました。

しかしながら、今年度はオフィスビルの新規供給が少ないことなどの要因により、売上高は4,689百万円で前年同四半期比215百万円、4.4%の減収となりました。利益面では固定費の圧縮には努めたものの、減収にともなう粗利益額の減少や円安による仕入れ部材価格の上昇により、セグメント損失は176百万円(前年同四半期はセグメント利益6百万円)となりました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き設備投資需要が拡大している半導体関連検査装置や電池部材向け検査装置の開発、販売に注力してまいりました。

この結果、売上高は3,026百万円で前年同四半期比248百万円、8.9%の増収となりました。利益面においては、販売増加にともなう粗利益額の増加等により、セグメント利益は157百万円（前年同四半期はセグメント損失130百万円）となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司およびTakano of America Inc.で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体製造装置業界の好調を受け、電磁アクチュエータの増産体制の整備ならびに販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,355百万円で前年同四半期比100百万円、8.0%の増収となりました。一方、利益面では原材料価格の上昇にともなう粗利率の低下と、更なる生産体制の拡大に向けた設備投資や人員増加などの固定費の増加により、セグメント利益は197百万円（前年同四半期比66百万円、25.2%の減益）となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、ウイズコロナ時代到来によるホテル・レストラン業の事業回復を睨み、WEBを活用したプロモーション等の販売促進活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は455百万円で前年同四半期比9百万円、2.2%の増収となりました。一方、利益面では原材料や部材価格の上昇による粗利益の悪化と、営業体制強化にともなう固定費増加等により、セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。この結果、売上高は695百万円で前年同四半期比86百万円、14.1%の増収となりました。一方、セグメント利益は30百万円で、前年同四半期比10百万円、25.0%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して338百万円減少の23,009百万円となりました。これは主に、売掛代金の回収が進んだこと等により現金及び預金が853百万円、受注残高の増加にともない商品及び製品が191百万円、仕掛品が1,216百万円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が2,665百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して151百万円減少の14,117百万円となりました。これは主に、投資有価証券が53百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が146百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が58百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は37,126百万円となり、前連結会計年度末と比較して489百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して604百万円減少の6,262百万円となりました。これは主に、検査計測装置の大口物件の納入により契約負債が880百万円増加した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が750百万円、未払法人税等が272百万円、賞与引当金が204百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税が87百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,122百万円となり、前連結会計年度末と比較して592百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して103百万円増加の30,004百万円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社による配当金の支払い等により62百万円減少した一方、為替換算調整勘定が117百万円、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、その他有価証券評価差額金が48百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.5%から80.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績につきましては、2022年5月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,798,325	8,652,078
受取手形、売掛金及び契約資産	10,210,758	7,545,487
有価証券	300,000	200,000
商品及び製品	616,380	808,322
仕掛品	2,892,214	4,108,665
原材料及び貯蔵品	1,357,887	1,431,666
その他	172,087	263,335
流動資産合計	23,347,654	23,009,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,519,379	3,389,675
機械装置及び運搬具（純額）	970,410	887,102
土地	4,236,283	4,236,283
その他（純額）	708,724	775,109
有形固定資産合計	9,434,798	9,288,171
無形固定資産	183,395	187,104
投資その他の資産		
投資有価証券	3,142,536	3,195,857
その他	1,514,299	1,452,469
貸倒引当金	△6,218	△6,218
投資その他の資産合計	4,650,617	4,642,107
固定資産合計	14,268,811	14,117,383
資産合計	37,616,465	37,126,940

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,881,529	1,454,071
電子記録債務	2,541,952	2,218,468
未払法人税等	335,523	62,588
契約負債	305,860	1,186,044
賞与引当金	608,191	403,681
製品保証引当金	34,329	33,345
その他	1,159,199	903,853
流動負債合計	6,866,587	6,262,053
固定負債		
長期借入金	80,000	70,000
退職給付に係る負債	508,580	528,251
その他	260,133	262,394
固定負債合計	848,714	860,646
負債合計	7,715,301	7,122,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	25,339,798	25,277,162
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	29,456,641	29,394,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,908	370,428
為替換算調整勘定	121,795	239,522
退職給付に係る調整累計額	818	284
その他の包括利益累計額合計	444,522	610,235
純資産合計	29,901,164	30,004,241
負債純資産合計	37,616,465	37,126,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,991,864	10,222,070
売上原価	7,703,143	7,809,031
売上総利益	2,288,720	2,413,038
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	570,995	615,342
賞与引当金繰入額	113,666	136,920
退職給付費用	24,486	28,569
研究開発費	425,840	355,314
その他	980,900	1,075,770
販売費及び一般管理費合計	2,115,890	2,211,917
営業利益	172,829	201,121
営業外収益		
受取利息	10,028	9,891
受取配当金	18,532	23,554
為替差益	—	20,912
受託研究収入	12,991	10,625
その他	22,867	18,701
営業外収益合計	64,419	83,685
営業外費用		
支払利息	1,146	1,224
固定資産除却損	2,500	259
コミットメントフィー	3,384	3,384
為替差損	14,278	—
その他	3,243	998
営業外費用合計	24,552	5,866
経常利益	212,696	278,939
特別利益		
固定資産売却益	7,080	—
特別利益合計	7,080	—
税金等調整前四半期純利益	219,777	278,939
法人税、住民税及び事業税	32,353	43,007
法人税等調整額	49,729	55,023
法人税等合計	82,082	98,030
四半期純利益	137,694	180,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,694	180,909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	137,694	180,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,560	48,519
為替換算調整勘定	52,471	117,726
退職給付に係る調整額	△8,583	△533
その他の包括利益合計	48,448	165,712
四半期包括利益	186,143	346,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,143	346,621
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	219,777	278,939
減価償却費	435,757	437,399
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△101,730	△205,115
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,306	17,579
受取利息及び受取配当金	△28,561	△33,446
支払利息	1,146	1,224
売上債権の増減額 (△は増加)	1,816,911	2,712,691
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72,707	△1,472,268
仕入債務の増減額 (△は減少)	△282,322	△769,390
未払金の増減額 (△は減少)	△78,623	△80,291
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△115,113	△87,647
契約負債の増減額 (△は減少)	△94,526	879,412
その他	△63,325	△181,955
小計	1,638,988	1,497,132
利息及び配当金の受取額	28,663	33,663
利息の支払額	△1,125	△1,055
法人税等の支払額	△35,730	△305,408
法人税等の還付額	33,119	—
雇用調整助成金の受取額	900	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,664,815	1,224,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△437,016	△252,021
定期預金の払戻による収入	278,019	305,016
有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△153,543	△238,331
有形固定資産の売却による収入	12,251	881
投資有価証券の取得による支出	△644	△726
その他	△59,887	△31,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,819	△116,964
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△35,040	△30,040
リース債務の返済による支出	△30,889	△36,341
自己株式の取得による支出	△33	—
配当金の支払額	△121,569	△243,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,532	△309,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,449	109,305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,154,912	906,746
現金及び現金同等物の期首残高	7,749,381	7,474,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,904,293	8,381,056

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,828,358	2,778,515	1,254,394	445,516	609,059	9,915,844
その他の収益	76,019	—	—	—	—	76,019
外部顧客への売上高	4,904,377	2,778,515	1,254,394	445,516	609,059	9,991,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,236	141	21,848	2,500	303,829	364,558
計	4,940,614	2,778,657	1,276,243	448,017	912,889	10,356,422
セグメント利益又は損失(△)	6,254	△130,538	263,716	△2,798	41,062	177,696

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	177,696
セグメント間取引消去	△4,867
四半期連結損益計算書の営業利益	172,829

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,610,799	3,026,868	1,355,362	455,296	695,180	10,143,507
その他の収益	78,562	—	—	—	—	78,562
外部顧客への売上高	4,689,362	3,026,868	1,355,362	455,296	695,180	10,222,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,884	672	32,812	5,946	303,251	393,566
計	4,740,246	3,027,541	1,388,174	461,242	998,431	10,615,637
セグメント利益又は損失(△)	△176,223	157,962	197,193	△8,318	30,795	201,409

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	201,409
セグメント間取引消去	△288
四半期連結損益計算書の営業利益	201,121

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。